

令和7年度学校教育目標「『笑顔』いっぱい長松小」文責 校長 多貝

長松小学校学校だより

R7年11月28日発行



えがおいっぱい 87号

5年生が作ったお米を届けてきました！



第一中に5年生が収穫したお米を届けてきました。
第一中では受験をする3年生が「受験に勝つ！カレー」としてそのお米を食する予定です。

第一中と本校は、お米を媒体としてもつながっています。第一中の生徒も5年生だったころ米作りを経験したと思います。作る側から受け取る側そして高校生へと向かっていきます。
伝統のバトンはお米でもつながっています。

ボランティア 自分以外の人のために

全校朝会でボランティアについて話をしました。自分以外の人のために働くすばらしさについてです。

子どもたちの口ぐせに「面倒くさい」があります。自分のためだけではなく、人のために働くから、ボランティアは少し面倒くさい部分もあるでしょう。気乗りしない面もあるでしょう。

しかし本校ではたくさんの子があいさつボランティアと落ち葉掃きボランティアをしています。

人のことを思うことは、これから先の職業にもつながっています。仕事はそもそも自分以外の人のために働くています。自己だけのために働くことはありません。こうした社会の仕組みを話して、ボランティアの良さを伝えました。「勤勉性とまわりへの感謝の心」は小学生時代に獲得すべき力です。

一人でも多く、自分以外の人のために働く良さを感じてくれたらと思います。

